

技術の研究開発



「A⁴CSEL™」の施工イメージ



自動ブルドーザの稼動状況



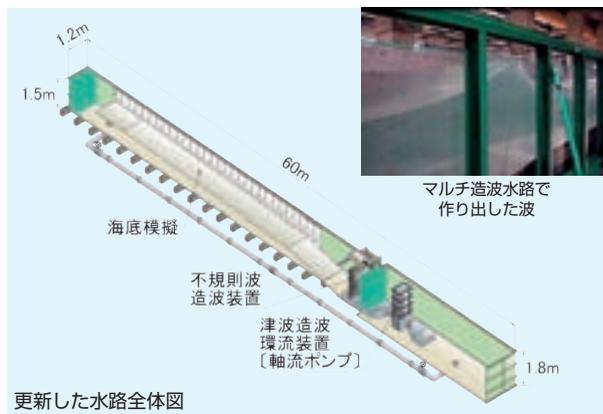
自動震動ローラの稼動状況



自動化装備した震動ローラ

建設機械の自動化による次世代の建設生産システムを開発

当社は、建設機械の自動化技術を核とした次世代建設生産システム「A⁴CSEL™」（クワッドアクセル）を開発しました。従来のリモコン等による遠隔操作とは異なり、人間がタブレット端末で施工指示を出し、無人で自動運転を行うものです。熟練技能者の減少や作業員不足への対応、工事の生産性並びに安全性の向上に大きく貢献できるシステムとして、今後、適用機種を更に増やしていきながら、建設工事の自動化を進めていく方針です。



更新した水路全体図

水理実験施設を更新、多様な波の再現が可能に

技術研究所にて、様々な津波の波形を再現できる「マルチ造波水路」を更新しました。実験性能の大幅な向上により、これまで想定できなかった再現実験が可能となりました。今後の防災・減災対策に役立ててまいります。



「R-SWING®工法」3連揺動型掘削機が完成

都市部の地下立体交差などを構築するアンダーパス工法「R-SWING®工法」で使用される3連揺動型の掘削機を製作しました。別の工事で使用した2連の掘削機を転用したもので、コストの削減と工期の大幅な短縮が可能となりました。